

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 元 年 7 月 30 日

公表: 令和 元 年 8 月 1 日

事業所名 重症児デイNEST

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		利用者の定員を守り、活動しやすいようにスペースを工夫しています。平日の利用数に対しては余裕があるが、土、祭日で利用数が多い時は工夫が必要。	
	2	職員の配置数は適切である	6		マンツーマンの体制でスタッフ調整しています。	利用人数や状況に合わせて、配慮している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		適切な活動スペースを確保することができています。バリアフリー化を図り、スタッフが動きやすいように構築されています。	自分で移動できる利用児と、動けない利用児が共に安全に過ごせるよう注意している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		毎日清掃に努め、清潔感あふれる空間となっています。物の整理も行き、活動しやすい空間が作られています。床のマットは分割されており、汚染時はその部分だけでも交換、洗浄できる。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	支援計画に沿って、スタッフ間でのミーティング、情報共有が図られています。全職員で話し合うことは難しいが、情報を共有し、参加していけるようにする。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2		開所したばかりの施設である為、今後行えるよう準備しているところです。初回実施の為、今回の結果を基に今後の改善に繋げていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2		開所したばかりの施設である為、今後行えるよう準備しているところです。初回実施の為、今後実施していく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		外部の声をスタッフ間で共有し、前向きに支援に生かしていけるよう取り組んでいます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			参加できるときは参加するよう学びを大切にしています。積極的に研修に参加する意識を促し、研修の機会を確保していく。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		児発管を中心にスタッフ間で意見交換し、その内容を基に作成されています。新規の利用者ばかりの為、短い期間で経過を見て、見直しをしています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	日々、勉強し、作成していけるよう取り組んでいます。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		児発管を中心に個々の支援に必要な項目を取り入れながら支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		個々の目標に沿って支援しています。計画に沿った支援が的確に安定に行われるように共有し、確認しながら実施していく。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	児発管を中心にスタッフ間でミーティングを行い、計画立案しています。	意見を出し合ってまとめているが、チームでは行っていない。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		日々、活動計画を立てたものによって、固定化しないように配慮しています。利用者の状況に合わせて工夫する。	新しいプログラムも探していく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6		長期、短期目標を設定し、それに基づき計画を立案しています。創作、体操、遊び、外出等楽しく過ごせるよう個々に合わせていく。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	3	その日の利用者情報をスタッフ間で共有し、役割分担の確認をしています。開始時に全員が揃うわけではないため、ノートや声掛けで共有している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	3	スタッフ間で情報を共有、振り返りを行い、日々より良い支援ができるように努めています。終了時、その日の職員全員が揃うことはないため声掛けやノート等で確認。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		記録漏れに注意し、スタッフ間で支援の振り返りを行い、検証、改善しやすいようにしています。	
20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		個々のスキルに応じた計画を立て、定期的にスタッフ間で協議しながら、保護者と面談を行い、見直しを行っています。新規の利用者ばかりで障がいも重いため、3か月毎の見直しと変化があれば適宜見直しを行っています。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		参画している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		施設見学をしていただいています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6		情報交換し合えるよう、取り組んでいます。少しずつ連携が図れているところです。医師の指示書の確認。相談員や他の利用サービス事業所との連携。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6		看護指示書を記載して頂き、連絡体制を整えているところです。連絡先の確認。家族とも連携し、連絡がスムーズにとれるようにする。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2		今後取り組んでいくべき課題だと思います。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2		今後取り組んでいくべき課題だと思います。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		他施設等見学に行っている。	まだ不十分なところは、今後さらに連携を深めていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5		スタッフの子共とは交流する機会はあるが、もっと地域で出来るように考えていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		利用時の記録や送迎時での報告。定期的な面談の実施。	送迎時など家族と積極的にコミュニケーションを図り、活動へのご理解、協力を頂けるよう努めています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	2		今後行っていけるよう計画立案に努めていきます。利用者の介護状況を把握し、必要があれば支援できるようにしていく。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		送迎時にご家族に説明を行い、ご理解いただけるよう努めています。	説明で不十分なことがあれば、適宜対応していく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		保護者との面談を定期的に行い、同意を頂いています。アセスメント、定期的なモニタリングを行い実施している。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2	ご家族からの相談をスタッフ間で協議し、助言できるように努めるとともに、日々、学びを増やし、助言に繋がられるように努めています。	保護者と信頼関係を築き、今後実施できるようにしていく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3		今後行えるよう支援体制を整えていけたらと考えています。今後必要とあれば、検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		迅速かつ適切に対応できるよう努めています。	迅速に対応するように努めているが、今後も適切に実施できるようにしていく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	3	ホームページにて活動を掲載し、保護者へ発信しています。	月間予定表の作成はしているが、会報は発行していない。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		厳重な管理体制を取り、流出防止に努めています。写真の使用や情報提供等は確認をしている。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		個々のスキルに合った伝達方法を日々模索し、意思疎通が図れるよう配慮しています。個々に合わせた対応が出来るよう気を付けている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4		今後の課題です。現在はできていないが、今後検討していく。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	1	5		早急に作成、実施していきます。今後実施していく必要あり。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	5		早急におこなっていきます。今後実施していく必要あり。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		契約時に聞き取りを行い、母子手帳のコピーを頂くなど確認を行っています。アセスメントにて把握、発作の状況は適宜確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	家族からの情報確認で対応している。	早急に取り組んでいきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			スタッフ間で情報共有し、再発防止に努めます。できるだけ迅速に、全職員間で共有できるよう努める。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	4	研修があるときは参加できるよう対応しています。	今後、実施していく必要あり。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	1	5		スタッフ間では周知できていると思うが、その他は不十分であるため、今後対応に努めていきます。今後、必要時検討。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。